

平成29年度 第3回九州森林管理局保護林管理委員会の議事概要

- 1 日時 平成29年10月2日（10:00～14:40）
- 2 場所 九州森林管理局 2階大会議室
- 3 議事 (1) やんばる森林生態系保護地域(仮称)設定(案)について
(2) 猪八重地区における保護林の設定について
(3) 新たな保護林モニタリング調査マニュアルについて（報告）
(4) その他



4 概要及び主な意見

(1) やんばる森林生態系保護地域(仮称)設定(案)について

① 概要

やんばる森林生態系保護地域（仮称）設定予定地の現地視察及び、第2回九州森林管理局保護林管理委員会の審議結果、並びに追加現地調査の結果を踏まえた、新たなやんばる森林生態系保護地域（仮称）設定（案）について、審議を行った。

今回の保護林管理委員会での審議の結果を踏まえ、修正を行った上で、次回の第4回九州森林管理局保護林管理委員会の審議で最終案を確定していくこととされた。

② 主な意見

・「首里城古事の森」は首里城の復元、修復のため、将来的には大径木伐採を行うものとして設定されているが、周囲が未返還の米軍訓練場や保護林の中に設定されていることから、そういった特殊な利用であっても保護林の中に入れて特例的な取扱いを行えるよう

な措置はできないか。また、「首里城古事の森」を保護林に設定しないのであれば、伐採方法や、施業方法等具体的な取扱い方針や計画を示しておくべきではないか。

- ・ 勅令貸付地の63林班は県有林的扱いができることとされるが、当地域は、安波川上流の原流域に位置し、高齢級の照葉樹林地域でもあること、連続性を保つ意味からも、非常に重要な森林といえるので、林業的利用を行わないよう沖縄県へ当委員会の意見が伝わるよう働きかけを行ってはどうか。

- ・ 42・43林班の東側部分は、保護林設定予定箇所ではないが、単なる森林施業を行うのではなく、たとえば、本来のやんばるの豊かな常緑照葉樹林へ修復させるための試験地に設定することや、やんばる型森林業などを想定して有効活用（保全的な利用）できる森林域とすることはできないか。

- ・ タナガークグムの植物群落について、保護林に設定することは賛同する。また、周辺の貴重な植物群落の今後利用のあり方について、地域の意見を聞きつつ、検討に当たっては他事例も参考にするなどしてはどうか。

(2) 猪八重地区における保護林の設定について

① 概要

猪八重地区には原生的な照葉樹林がまとまった形で存在しており、極めて貴重な森林であることから、新たな保護林設定に向けた検討を行った。

② 主な意見

- ・ 猪八重地区は日本国内でも貴重な植物群落である。イチイガシ、ハナガガシなどの高木が主体となった森林は他になくここだけであり、とても貴重である。今回の保護林設定（案）を進めて早急に保全を図るべき。

- ・ 保護林設定（案）地域が隣接しているレクリエーションの森内にも貴重な森林があるので、保護林に拡大して設定することができないか。

(3) 新たな保護林モニタリング調査マニュアルについて（報告）

① 概要

- ・ 保護林制度の改正に伴い林野庁が作成した、新たな保護林モニタリング調査マニュアルが、九州森林管理局から保護林管理委員会に報告された。

③ 主な意見

- ・ なし

資料一覧

【議事次第・出席者名簿】

【資料 1-1】 やんばる森林生態系保護地域（仮称）設定（案）

【資料 1-2】 前回の指摘事項及び追加調査結果を踏まえた設定の考え方

【資料 2】 猪八重地区における保護林の設定について

【資料 3-1】 保護林モニタリング調査マニュアル（概要版）

【資料 3-2】 保護林モニタリング調査マニュアル見直しの背景

【参考資料 1】 保護林設定管理要領

【参考資料 2】 現存植生図

【参考資料 3】 沖縄北部追加調査（ドローン撮影）写真

【参考資料 4】 沖縄北部国有林の今後の取り扱いについて

【参考資料 5】 平成 28 年度沖縄北部国有林森林環境現況調査業務調査報告書

平成29年度 第3回九州森林管理局保護林管理委員会出席者名簿

	氏名	所属・役職	
委員	伊澤 雅子	琉球大学 理学部 教授	
	河野 耕三	綾町役場 エコパーク推進室 照葉樹林文化推進専門監	
	木口 実	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長	
	佐藤 英章	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場長	
	佐藤 和歌子	特定非営利活動法人 森林をつくろう 理事長	
	中尾 忠規	熊本県 自然保護課長	欠
	浜本 奈鼓	特定非営利活動法人 くすの木自然館 代表理事	欠
	藤掛 一郎	宮崎大学 農学部 教授	欠
	横山 隆一	公益財団法人 日本自然保護協会 参事	
	米田 健(委員長)	鹿児島大学 名誉教授	
	篠原 武夫 (オブザーバー)	琉球大学 名誉教授 (※)	
九州森林管理局	原田 隆行	局長	
	林 視	計画保全部長	
	山崎 準	計画課長	
	矢島 欣也	保全課長	
	甲斐 博文	技術普及課長	
	清水 俊二	沖縄森林管理署長	
	小原 豊治	計画課 自然遺産保全調整官	
	山崎 泉	計画課 課長補佐	
	田中 和利	計画課 生態系管理指導官	
	松永 雄治	計画課 企画官 (森林資源評価担当)	
	中村 雄二	計画課 森林施業調整官	
	小谷 豊	計画課 企画係長	
	佐伯 卓也	計画課 経営計画官	
	清田 誠	計画課 経営計画官	
	樋口 浩	計画課 行政専門員	
	三吉 康治	保全課 鑑定官	
事務局	山本 照光	日本森林技術協会 事業部保全管理グループ	
	中村 松三	日本森林技術協会 九州事務所	
	高橋 雅美	日本森林技術協会 事業部森林保全グループ	
	岩切 康二	岩切環境技研株式会社 技術部長	

※沖縄北部国有林の取扱いに関する検討委員会座長 (当時)

(委員50音順、敬称略)